

クルーズ船の受入に関する事務

平成30年度 実績報告書



平成31年3月
中部広域市町村圏事務組合

1 クルーズ船受入について

(1) 寄港実績

	H30 年度	H29 年度	対前年度伸び率
寄港回数	20 回	22 回	9.1%down
乗客計	25,830 人	21,492 人	20.2%up
乗員計	16,369 人	16,374 人	0.0%
合計（乗客・乗員）	42,199 人	37,866 人	11.4%up

※H30 年度の詳細は、[参考資料 1](#) 参照。

(2) 受入業務

- ①船・状況にあわせて受入レイアウトを調整
- ②コンテナやテント、カラーコーン、看板等の設置
- ③観光案内所、両替所等の設置
- ④通訳者の配置
- ⑤仮設トイレの設置

(3) 入出港歓迎イベント等の実施

①入出港演舞等

クルーズ船入出港の際、地域の NPO 団体へ事業委託し、地域の婦人会、老人会の演舞、学生の吹奏楽等にて歓送迎のイベントを行った。

②特産品販売

飛鳥Ⅱ寄港時（平成 30 年 12 月 5 日）に港湾内で市町村と連携し、特産品販売や特産品の紹介をおこなった。

- ・ 出展市町村：沖縄市、うるま市、北谷町、北中城村
- ・ 販売実績：512,860 円

(4) 二次交通の対応

①無料シャトルバス

中城湾港から拠点地までの無料シャトルバスを運行し、中城湾港内でのクルーズ船客等の安全確保を行った。

- ・ 拠点地：イオン具志川
- ・ 運行回数：15 回
- ・ 利用人数：6,404 人

※利用人数は、中城湾港から拠点地までの利用者数

②無料周遊バス

関係市町村が指定する観光地等を周遊するバスをシャトルバス拠点地より定期運行した。クルーズ船客等の誘客及び周遊に繋がったが、船社の要請により（平成 30 年 6 月中断）、周遊バスの運行は停止することになった。

- ・ 運行回数：5 回
- ・ 乗車人数：304 人

・周遊先下車実績

市町村	沖縄市	うるま市	北谷町	北中城村	中城村
下車地	・こどもの国(8) ・東南植物楽園(83) ・プラザハウス(26)	勝連城跡	アメリカン ヴィレッジ	・コスタピスタ(6) ・イオンモール沖縄 ライカム(13)	・中城城跡(20) ・中城公園(4)
下車数	117人	77人	67人	19人	24人

※なお、周遊バスから下車しない乗客等は含まない。

③クルーズ船社による公式ツアー

- ・バス台数：316台
- ・利用者数：約9,480人（1台30人とした概算値）
- ・ツアー周遊先（関係市町村施設等の経路のみ掲載）
 - ・やちむんの里→中村家住宅→中城城跡
 - ・勝連城跡→海中道路→ぬちまーす→ドラッグストア→イオン
 - ・海洋博公園→イオンモール沖縄ライカム
 - ・万座毛→嘉手納道の駅→泡瀬パヤオ直売所→イオン
 - ・琉球村→ドラッグストア→アメリカンヴィレッジ→イオン

④タクシー

- ・中城湾港内に通訳を配置し、主にFIT客に対し、観光案内やそれに伴うタクシーの手配を行い、関係市町村の周遊につながった。
- ・利用台数 1,870台
- ・利用者数 6,387人

市町村	主な行先
沖縄市	沖縄こどもの国、泡瀬パヤオ直売所、ゲート通り、レンタカー業者、東南植物楽園、まんが倉庫、東京第一ホテル、プラザハウス、ハードオフ泡瀬店
うるま市	イオン具志川、勝連城跡、ドン・キホーテ、メインシティ、デポ、ABLOうるま、海中道路
北谷町	アメリカンヴィレッジ、サンセットビーチ、レンタカー業者、ホテル
北中城村	イオンモール沖縄ライカム、中村家
中城村	中城城跡、
宜野湾市	普天間神宮
読谷村	真栄田岬
那覇市	首里城、国際通り、新都心、波上宮
浦添市	浦添大公園、前田岬
南城市	玉泉洞
豊見城市	アウトレットモールあしびなー、瀬長島
恩納村	琉球村、万座ビーチ
本部町	美ら海水族館

2 国および県等との調整について

(1) CIQ の対応

外国から最初に日本国内の港に入港する場合（ファーストポート）および外国に向けて最後に日本国内の港を出港する場合（ラストポート）、税関（Customs）、出入国管理（Immigration）、検疫（Quarantine）の手続き等に関して、スムーズな手続きとなるよう情報共有を図った。

(2) SOLAS 条約の対応（国際船舶・港湾保安法）

SOLAS（ソーラス）規定により、バス、タクシー等の立入許可や関係者等の車両入港許可等の取り纏め及び報告等を県に行い、中城湾港内の安全管理を行った。

(3) 荷役事業者等の岸壁使用調整会議（バース会議）への出席（受入施設機能調整部会）：16 回参加

2 観光資源等の情報提供や PR 活動について

(1) クルーズ船社への PR 活動

① 沖縄クルーズカンファレンス及びクルーズセミナー、商談会 2018

- ・ 日 程：11 月 28 日（水）
- ・ 場 所：沖縄県産業支援センター（那覇市）
- ・ 主な PR 先：ポナン、シルバーシークルーズ、MSC クルーズ、
Astro Ocean Cruise International Company Limited
- ・ PR 内容：中城湾港での受入の取組
関係市町村の観光情報提供

② 福岡クルーズ会議

- ・ 日 程：1 月 30 日（水）
- ・ 場 所：福岡県
- ・ 主な PR 先：MSC クルーズ、ノルウェージャンクルーズ、
Astro Ocean Cruise International Company Limited
- ・ PR 内容：中城湾港での受入の取組
関係市町村の観光情報提供

(2) 旅行代理店への PR 活動

① 旅行社および船社訪問東京出張

- ・ 日 程：11 月 15 日（木）～16 日（金）
- ・ 主な PR 先：JTB GMT、ミキツアーリスト、HIS、コスタクルーズ
- ・ PR 内容：ツアーの造成

② 台湾旅行博

- ・ 日 程：11 月 22 日（木）～24 日（土）
- ・ 主な PR 先：台湾の旅行社
- ・ PR 内容：関係市町村の観光情報提供

(3) クルーズ船内での PR 活動

① スーパースターアケリアス乗船 PR

沖縄県に寄港するクルーズ船に、台湾から乗船し、中部観光地を含む船社オフィシャルツアーの販促活動と関係市町村観光情報の PR を行った。

- ・日 程：9月16日（日）～18日（火）
- ・参加者：北谷町1人、北中城村1人、事務局3名、アドバイザー1人
※東南植物楽園から2名が視察で同行
- ・PR内容：オフィシャルツアー内の中部観光地の情報提供
琉装体験
市町村に関係した販促物の配布
- ・主な成果：中部圏域を中心にした2コース（乗客72名）の販売

② 飛鳥Ⅱ乗船 PR

郵船クルーズからの依頼で飛鳥Ⅱに乗船し台湾～那覇～中城の間、中部のツアー紹介と観光情報の案内を行った。

- ・日 程：12月2日（日）～5日（水）
- ・参加者：うるま市1人、事務局1人
- ・PR内容：オフィシャルツアー内の中部観光地情報の提供
関係市町村の観光情報提供
- ・主な成果：うるま市「闘牛ショー」の販売

(4) PR 動画の制作

船社への誘致活動やHP等のメディアを使い中城湾港の魅力発信および地域住民への周知に活用するため、中城湾港でのクルーズ船受入の取組や周辺地域情報のPR動画を制作した。

(5) 中城湾港周辺地図リーフレットの制作

中城湾港から徒歩圏内（半径3km程度）で行く事ができる施設を一枚の地図で示し、遠出を好まない船客及び船員らが周辺に何があるか、目的地までの距離がイメージできるよう、日本語・英語・繁体字・簡体字の4言語で制作した。

3 誘客及びツアー造成について

(1) 中部広域圏スタンダード観光ルート開発事業

周遊の増加が見込まれるクルーズ船客の中部広域圏における滞在と消費拡大を促し、中部広域圏のスタンダード観光ルートの開発に繋げるため、中国および台湾からのクルーズ船客等向けにツアーを販売している旅行社へ委託し観光バスツアーの実証実験を実施した。

- ・実施期間：平成30年7月～平成31年2月末
- ・送客実績：874人

(2) 実施した観光ルート

- ① 中城公園（中城村） → 東南植物楽園（沖縄市） → 嘉手納道の駅（嘉手納町）
→ アメリカンビレッジ（北谷町）
- ② 琉球村（恩納村） → 嘉手納道の駅（嘉手納町） → 東南植物楽園（沖縄市）
→ イオンモール沖縄ライカム（北中城村）
- ③ 琉球村（恩納村） → 東南植物楽園（沖縄市） → 海中道路（うるま市） →
ぬちまーす（うるま市） → イオンモール沖縄ライカム（北中城村）
- ④ 勝連城跡 → 東南植物楽園 → イオンモール沖縄ライカム

4 地域連携での受入体制について

(1) 船内見学の実施

- ・実施回数：3回
- ・実施した船：シーボーンソジャーン、コスタアトランティカ、飛鳥II
- ・参加人数：約110名
- ・参加者：市町村（首長、議長、職員、観光協会等）、民間事業者

(2) クルーズ受入セミナーの開催

クルーズ船客受入に意欲のある事業者を対象に、事業者のクルーズ船やクルーズ市場に関する理解を深めることを目的に船内見学と合わせてセミナーを実施した。

- ・実施日：平成30年12月5日（水）
- ・参加人数：50名程度
- ・講師：沖縄総合事務局開発建設部 港湾計画課課長 辻本陽琢
クルーズ船戦略アドバイザー 吉川太朗

(3) 国内外クルーズ港視察・調査事業の実施

クルーズ船に乗船し、他港の受入体制及び現地ツアー等を視察し、本事務局組合及び関係市町村それぞれの受入体制の具体的な取り組みに繋げることを目標とし実施した

①第1回

- ・実施期間：平成30年10月7日（日）～14日（日） 7泊8日
- ・船名：コスタネオロマンチカ
- ・航路：神戸港→釜山港→佐世保港→新宮港→東京（晴海ふ頭）
- ・参加者：沖縄市1人、アドバイザー2人、事務局2人

②第2回

- ・実施期間：平成30年11月19日（月）～25日（日） 6泊7日
- ・船名：コスタネオロマンチカ
- ・航路：神戸港→釜山港→浜田港→金沢港→東京（晴海ふ頭）
- ・参加者：北谷町1人、北中城村1人、アドバイザー1人、事務局2人

5 事務局体制について

(1) 嘱託職員の配置

英語、中国語の会話などの専門スキル保持者を採用し、以下の専門的業務に従事した。

- ・クルーズ寄港時の観光地紹介、初寄港時の式典などの通訳業務
- ・クルーズ船社および旅行社等への PR 活動時の通訳業務
- ・クルーズカンファレンスや旅行博等で PR 活動時の通訳業務
- ・クルーズ船内 PR 活動時の通訳業務
- ・看板や公文書などの翻訳業務

(2) クルーズアドバイザーの任命

クルーズ船受け入れにおいて戦略的かつ効率的に推進することを目的にクルーズ船船客の受入戦略及び地元事業者とのネットワーク構築を図るため、クルーズアドバイザー2名を任命した。

6 課題点等

(1) ツアーの周遊先について

- ・クルーズ船社の公式ツアーは、南部地域であれば「首里城」や「国際通り」、北部地区は「美ら海水族館」のコースが定番化している。一方、クルーズ船社や旅行社は新たな周遊先を求めている。
- ・クルーズ船社や旅行社は、外国人対応が可能で且つ常時対応可能な周遊先を求めている。
- ・ツアー周遊を求める事業者とクルーズ船社や旅行社との直接交渉が必要である。

(2) 情報発信について

- ・乗員（特にツアーデスク）は中城湾港の位置、その地域の周辺情報を求めてくる。とりわけ中城湾港周辺の情報提供等は必要である。
- ・中国船客は「WeChat」、台湾船客は「Facebook」などの SNS を活用し、周遊先を決定している。地域に合わせた情報発信が必要。
- ・中部広域のガイドマップが求められているが、しかし、掲載する店舗等の受け入れ人数や言語対応の可否などの調査等が必要。

(3) クルーズ船寄港誘致・受入について

- ・中城湾港と那覇港とのダブルブッキングにより那覇港への寄港地変更が繰り返されており、対応策が求められる。
- ・中城湾港に寄港しなければ体験などができないアクティビティの造成が必要。

(4) 国内外クルーズ港視察・調査事業での気づき

- ・一般や学生のボランティアでの受入やその方々による見送り会実施など、地域を巻き込んだ受入を他県では実施していた。
- ・地域の歓迎ムードの高まりやそれに伴う取組みなどの歓待は、特に日本人客に対してリピーターに繋がる可能性がある。